

引き続き、ごみの分別と資源化にご協力をお願いします

いつも、ごみの分別にご協力ありがとうございます。

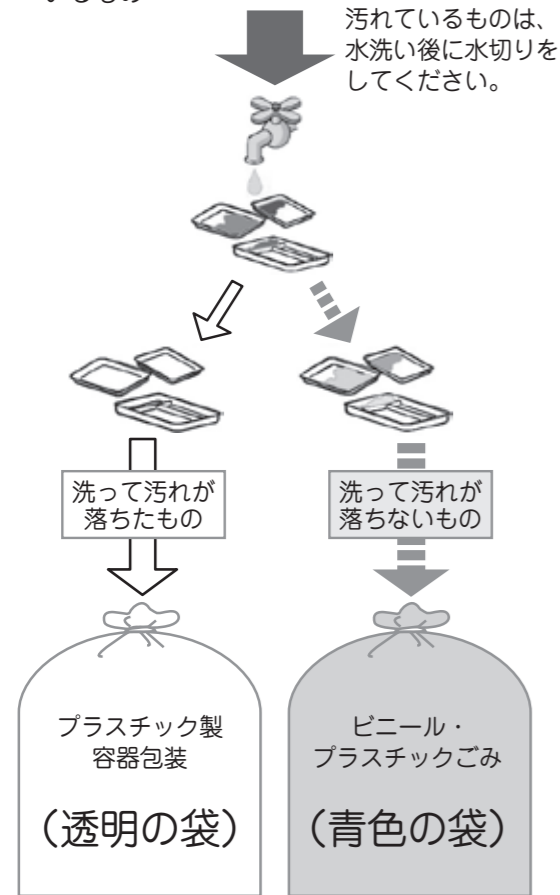
しかし、残念なことに、プラスチック製容器包装にプラスチック以外のものや汚れたプラスチックが混ざっていて、資源化できなくなってしまうものがあります。せっかく分別していただいているのに、違うものが入るだけで資源化できなくなってしまうのはとても残念なことです。

もう一度『ごみの分け方・出し方』を確認し、ごみの分別と資源化に引き続きご協力をお願いします。

汚れたプラスチックのごみの出し方



▲汚れたままのプラスチック容器が混ざっているもの



汚れているプラスチック容器は水洗いします。その後、プラスチック容器にある水を切ります。洗って汚れの落ちたものは透明の袋の『プラスチック製容器包装』に、洗って汚れの落ちないものは青色の袋の『ビニール・プラスチックごみ』に、それぞれ分けて出しましょう。

過去に混ざっていたごみの事例

出されたプラスチック製容器包装に混ざっていたものでは、以下のような事例がありました。中には、針、金属などもあり、たいへん危険です。それぞれの正しい『ごみの分け方・出し方』をしましょう。



▲針が混ざっているもの。大変危険です



▲紙パックが混ざっているもの



▲布、電気コード、金属類が混ざっているもの

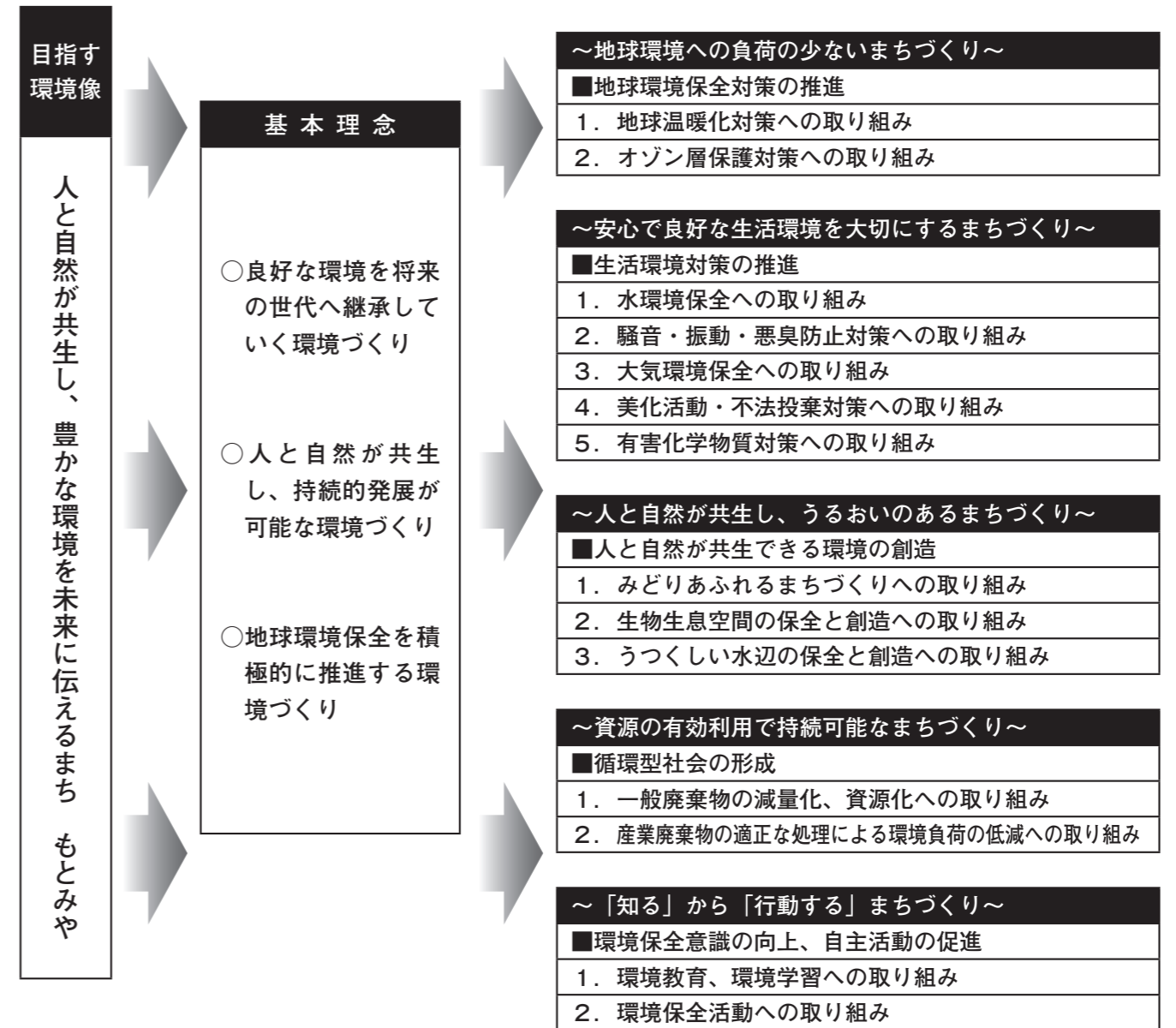
◆問い合わせ先

もとみやクリーンセンター ☎33-5499
 本宮市役所生活安全課環境保全係 ☎33-1111
 白沢総合支所市民福祉課生活環境係 ☎44-2111

一人ひとりが一つひとつの取り組みを ～環境基本計画の取り組み～

これまで数回にわたり、環境基本計画の内容を紹介してきました。それら一つひとつの取り組みを実施することにより、基本理念にあるような良好な環境、自然との共生などの実現、さらには計画で掲げている環境像の実現へとつながっていきます。

今月号では、それぞれの取り組みがどのように関係しているのかを表しました。



このように、本宮市が目指す環境像「人と自然が共生し、豊かな環境を未来に伝えるまち もとみや」を実現するためには、それぞれの取り組みが重要になってきます。しかし、その取り組みは、誰か一人が取り組めばいいというものではなく、市民のみなさん、事業者のみなさん、そして行政（市）が連携・協力して取り組むことが不可欠です。

一つひとつの取り組みを身近なところから、出来ることから実践し、みなさんの手で良好な環境を将来に伝えていきましょう。

◆問い合わせ先 生活安全課 環境保全係 (☎内線114)